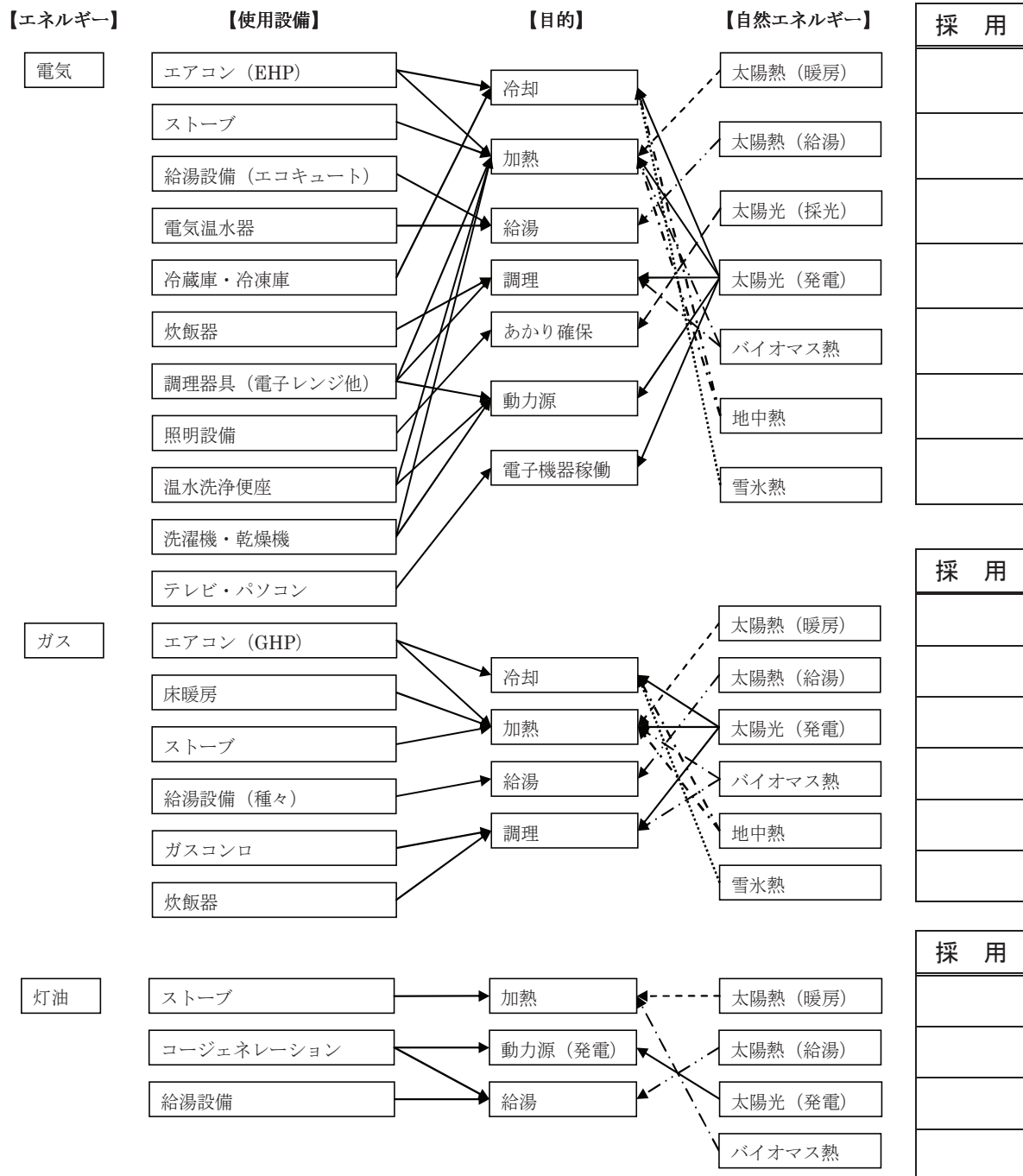


【参考(2)－①】

■ 自然エネルギー導入検討結果 (住宅用)



※ 実際に採用した場合は、設備等の概要 (カタログ、概念図等) を添付してください。

(1) 暖房

① 建物全体の暖房方法を検討したい。

- はい (②へ) いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：ソーラーシステムは家全体の暖房を、薪ストーブは複数の部屋の暖房を検討することもできます。一部屋だけを検討するなら、ペレットストーブが良い場合があります。

② 市街地の住宅密集地ではない。

- はい (③へ) いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：ストーブは立ち上げ時・消火時に匂いがすることがあり、近隣に住宅がある場合、煙や匂いに注意が必要です。

③ 庭や軒下に薪が置ける。

- はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：薪ストーブを利用する場合、屋外にひと冬分の薪置き場を確保できると安心です。広い場所が確保できなくても、軒下などで小型のラックを置く場所があれば、薪の宅配サービスを利用できます。

>>>> 検討結果 (導入設備)

- ソーラーシステム
 薪ストーブ
 ペレットストーブ
 その他 (高効率空気調和設備など)

(規模など)

(2) 冷暖房

① 複数の部屋の冷暖房を検討したい。

- はい (②へ) いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：ヒートポンプや掘削の費用を考えると、地中熱利用システムは複数の部屋に導入するほうが、投資効果が高まります。

② 敷地に、車数台分の駐車スペースがある。

- はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：熱交換チューブの埋設には駐車場程度の広さが必要ですが、埋設後は地上を駐車場として利用できますので、別途専用の場所を確保する必要はありません。

>>>> 検討結果 (導入設備)

- 地中熱利用システム
 その他 (高効率空気調和設備など)

(規模など)

(3) 給湯器

① お風呂は毎日湯船にお湯(温水)を張る。

はい (②へ) いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：貯まった温水を使わないと、故障の原因になることもあります。シャワーのみでは温水の使用量が少なく、太陽熱温水器・給湯システムを導入しても、燃料使用量の削減効果があまり見込めません。

② 世帯人員は2人以上である。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：太陽熱温水器・給湯システムのタンク容量は、最小でも200L程度あります。温水を利用する人数が少ないと、燃料使用量の削減効果があまり見込めません。

>>>> 検討結果(導入設備)

太陽熱温水器・給湯システム

その他(高効率給湯器、コージェネレーションシステムなど)

規模など

(4) 動力他

① 日中家にいることが多い。

はい いいえ (②へ)

「はい」を選んだ方へ：日中に室内で照明を利用する時間が長いのであれば、自然光を利用すると良いでしょう。

② 電気製品の利用が増えそう。

はい いいえ (③へ)

「はい」を選んだ方へ：太陽光発電を設置することにより、自家消費あるいは売電により電気代の増加分を補うことができます。

③ 何か環境に良いことをしたい。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：太陽光発電を設置したときのコストと売電収入がどうなるか、試算してみましょう。

>>>> 検討結果(導入設備)

自然光の利用

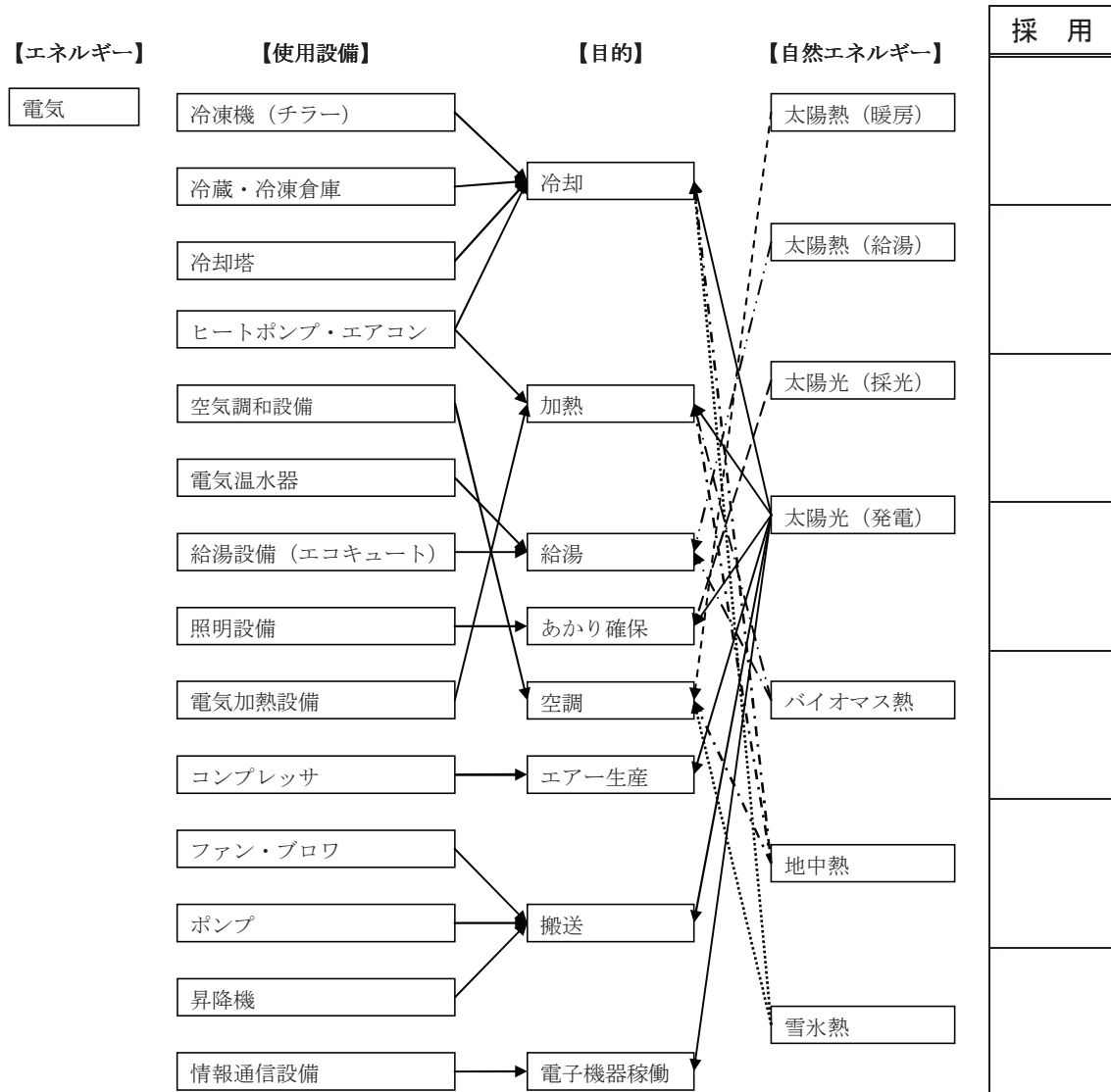
太陽光発電

その他(高効率照明機器など)

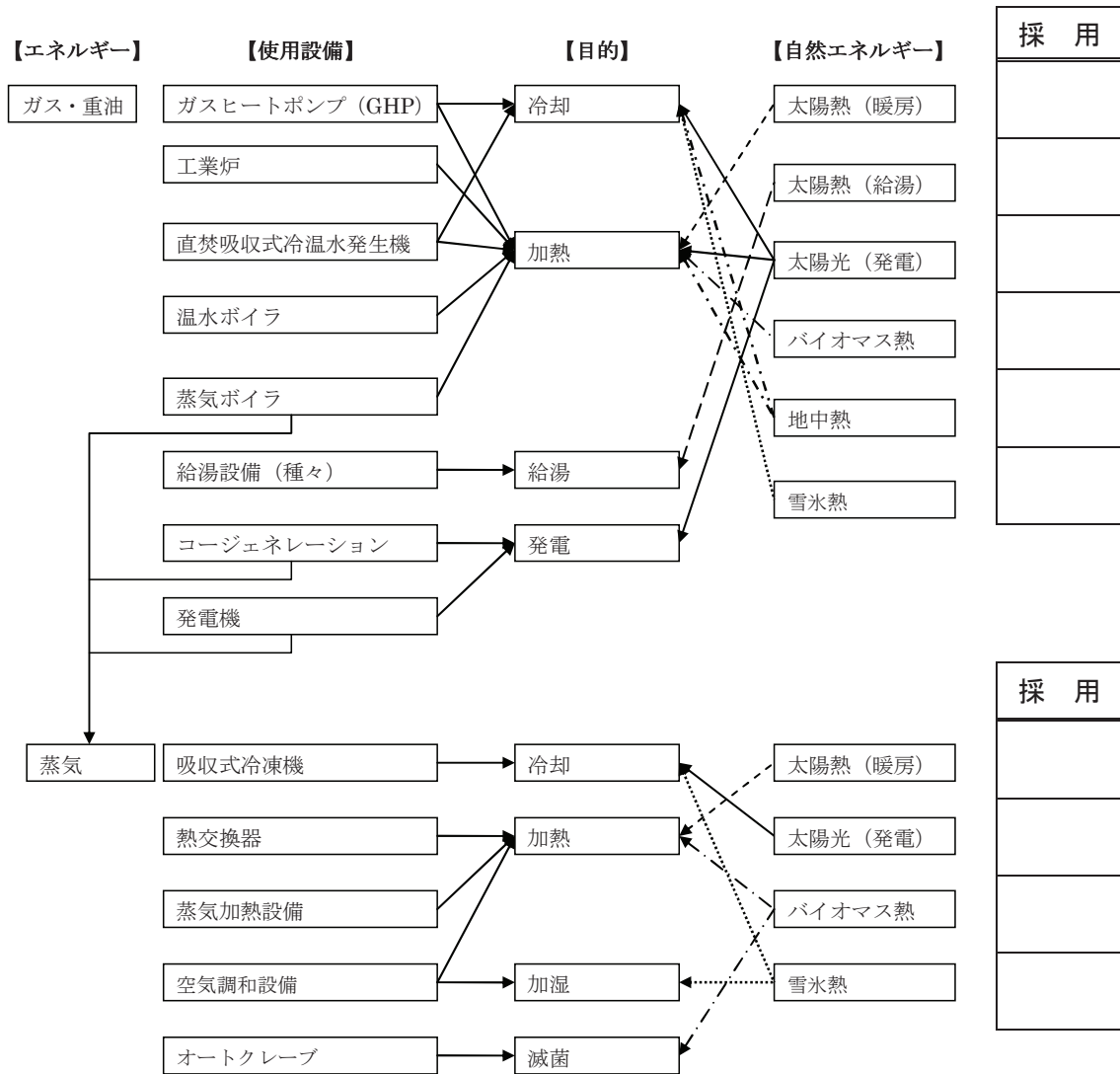
規模など

【参考(2)－②】

■ 自然エネルギー導入検討結果 (事業用)



自然エネルギー導入チェックシート (事業用)



※ 実際に採用した場合は、設備等の概要 (カタログ、概念図等) を添付してください。

(1) 冷暖房

① 冷房への導入は考えていない。

はい (②へ) いいえ (③へ)

「はい」を選んだ方へ：ヒートポンプを使う地中熱利用システムは、冷房にも暖房にも利用できます。暖房のみの場合は、チップボイラやソーラーシステムの導入を検討すると良いでしょう。

② 市街地の住宅密集地ではない。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：ボイラは立ち上げ時・消火時に匂いがすることがあり、近隣に住宅がある場合、煙や匂いに注意が必要です。ソーラーシステムでは、煙や匂いを気にする必要がありません。

③ 敷地に冷暖房対象の床面積と同等のスペースがある。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：地中熱利用システムでは、熱交換チューブを埋設する場所が必要です。事業用の場合、冷暖房対象の床面積と同等の広さが必要となりますが、埋設後は地上を駐車場として利用できますので、別途専用の場所を確保する必要はありません。

>>>> 検討結果 (導入設備)

- 地中熱利用システム
- チップ・ペレットボイラ
- ソーラーシステム
- その他 (高効率空気調和設備など)

(規模など)

(2) 給湯器

① 温水を定常的に大量に使用する温浴施設や温水プールがある。

はい (②へ) いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：太陽熱温水器・給湯システムの温水は飲用に適していません。温浴施設などで大量に使用することがあれば、燃料使用量の削減効果が見込めます。

② 多雪地域ではない。

はい (③へ) いいえ (④へ)

「いいえ」を選んだ方へ：多雪地域では、冬季に十分な温水が確保できないおそれもありますが、水道の水を直接温めるよりは燃料使用量を削減できますので、費用対効果を試算してみましょう。

③ 屋上にものを載せられる場所がある。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：屋上 (陸屋根) のない、切妻屋根などでも設置できます。

④ 近隣に民家が少ない。

はい いいえ

「いいえ」を選んだ方へ：ボイラは立ち上げ時・消火時に匂いがすることがあり、近隣に民家がある場合、煙や匂いに注意が必要です。

>>>> 検討結果（導入設備）

- 木質バイオマス熱源設備
- 太陽熱温水器・給湯システム
- その他（高効率給湯器、コージェネレーションシステムなど）

（ 規模など ）

（3）冷房・冷蔵

① 年間を通じて一定温度に冷やす部屋がある。

- はい いいえ（②へ）

「はい」を選んだ方へ：農産物などの貯蔵庫の他、電算室（サーバールーム）などで一年中冷房を使用していませんか。

② 夏季の冷房を導入すべきか悩んでいる。

- はい いいえ

「はい」を選んだ方へ：夜間涼しくなるとはいえ、日中の暑さで体調を崩すこともあります。夏季だけに利用するクーラーにあまり投資したくない場合も、雪氷熱の利用を検討してはいかがでしょうか。

>>>> 検討結果（導入設備）

- 雪氷熱利用システム
- その他（高効率空気調和設備など）

（ 規模など ）

（4）動力他

まずは、自然光の利用を検討してはいかがでしょうか？

① 屋上又は敷地内に物を置けるスペースがある。

- はい いいえ（②へ）

「いいえ」を選んだ方へ：屋上（陸屋根）のない、切妻屋根などでも設置できます。

② 蒸気使用機器がある。

- はい いいえ

「はい」を選んだ方へ：チップ・ペレットボイラなどの木質バイオマス熱源設備の導入を検討してはいかがでしょうか。

>>>>> 検討結果（導入設備）

- 自然光の利用
- 太陽光発電
- チップ・ペレットボイラ
- その他（高効率照明機器など）

（ 規模など ）